

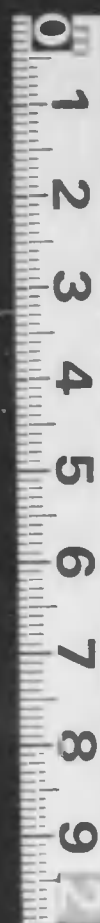
寫眞週報

編輯部情報閣内
ンセ十・號八卅第・日二月一十

昭和十三年二月十一日 第三三三號 昭和十三年十一月一日發行（第一號） 郵政省認可 郵政省認可 郵政省認可



國民精神作興週間
十一月七日—十三日





菊地雙三郎

明治節奉祝

御後威の輝くところ、皇軍忠武の凝るところ、今や廣東水師、漢口の攻めおちつた。この清國の氣の押に、明治の國威の輝に、明治の國威を迎へるとは日本國民にとつてどんなに大きな喜びであらう。然し戦ひではいからぬ。本格的長期戦役への輝かしく發足にはとどかさぬ。

菊花綬帶と香るこの佳日、我々は明治天皇の御聖徳を仰ぎ、御鴻業を偲び奉る。

忠報國の精神を昂め、時に時の現段階に於ける國民の重大使命を自負し、國家の勢力を擧げて聖職の目的を遂げて通達するの決意を一層堅からしめたる。

國民奉祝の時間

十一月三日午前九時

へ北へ南
てえ越を海 け往



天津、大連、
臺灣、小笠原、樺太、
千島、方面へは
近海郵船で
上海、青島、南洋へは
日本郵船で

近海郵船株式會社 東京丸の内



⇒ 駐友がたてた大手衝、漢口攻略の喜びを、増強神社に報告する白衣の勇士、漢口陥落の喜びを待たずに薩摩の鬼と化した駐友の奮闘に類した勇士の感激やいかにばかりであつたらう。



⇒ まさかこんなに早く、陥落の報は誰よりも看板屋さんに届いた。どうも明瞭までに全部間に合はしてほらひたいといふ御注文、嬉しい文字を書く嬉しい忙しさ。



漢口は陥落した。たう／＼陥落したぞ。ラヂオのわく／＼するやうなアナウンスが、街に、村に、日本國中を駆けまわった。何といふ喜びだ。何といふ感激だ。

萬歳、漢口陥落！お、われら一億の同胞は、今日のこの日をどんなに待ちに待ったことか。空は日本晴れだ。日東旗は大全に力一杯翻つてゐる。街角に、村のはてに、日本の歡喜が爆発、また爆発だ。電車の走る音も、子供の騒ぐ聲も、鳥の音も、牛の鳴きさへお、今日は何と明朗に聞えて来ることだ。

萬歳、漢口陥落！われらの父は、われらの兄、弟は漢口の旗高く打ち立てた日東旗を何いで飾り泣きに泣いてゐることだらう。陥落の日を待たず薩摩の鬼と化した英霊も地下で満足してゐるだらう。祝はう。一億われらが同胞！

⇒ 漢口市街から大別山系を望む。

漢口突入の日

⇒ 萬歳！日の丸の旗を手に手にこの喜びはまづ氏神様にと、愛國婦人會部は、まづ先に神社につくりするほどの大壁で萬歳を稱へた。お宮の地群が驚いて飛び立つた。皇國の喜びを大空にぶちまけたやうに。

⇒ 漢口陥落と大書の看板いち早く正面に掲げて祝賀気分をトツと切つた漢口活動萬歳隊、ニュース映畫がまだパイアスの上映を上映してゐる内に次の最大ニュースが訪れたのだ。

撮影 梅本 忠男



大正十二年十一月十日國民精神作興に關する詔書が頒發されてから今年は滿十五年に相當する時、恰も事變下漢口、廣東の攻略によつて國民政府に決定的の大打撃を與へその滅亡の日も近づくといふと同時に愈々新支那建設の大業に邁進すべき重要な時期に際會して居るので、この記念すべき日を中心として十一月七日から十三日まで一週間全国的に國民精神作興週間を設け、全國民總つて國民精神を益々勵揚し、聖訓所期の目的遂行に邁進することとなつた。

に舉國に「救國民精神を振作して祖國を充服し、國運の發展を廣るべきことを諭し給うた詔書であるから當時と今日とは年代的の距りがあつても國家非常の點では全く同一であり、その暗示し給ふところは今日國民の眞に服膺遵守すべきものである。全國國民は「國家興隆ノ本ハ國民精神ノ剛健ニ在リ」と宣はせられた「聖旨を奉讀し、確固不動、必勝の信念を以て降りたる祖國を充服すべきであつて、國民すべてが、國家總力戰の戰士たるの自覺を以て事業の眞意錢を解し、各々其の極分を通じて國家に對し、最大限の御事公をなすことが肝要である。すなはち社會に於て指導的地位に在る者は、非常時國民生活

徳川三百年の鎖國の夢から覺めた日本は軍事に、經濟に、文化にすべて歐米から學ばねばならなかつ

明治天皇御製
いかならむ事にあつてもたぬまねは
わがしきしまの大和だましひ
國民はこの大和魂をもつて長期建設の大業に邁進
し、國民的大試験を乗り切るべきである。

優秀な機械工
 たるためにま
 づ基礎學科を
 つちりと勉強
 ねばならない
 中等學校の課
 を修めたもの
 眞剣にやれば
 通一年かゝる
 のも一ヶ月で
 得出来るはづ

電氣熔接實習
約熱三千度、
近代機械技術の
習得に打ちこむ
若人の熱意は、
散る火花、輝く
電光とともにも
え上る。



國支那建設の大業に邁進するために工業方面では生産力の擴充に努めなければならぬ。そのためにはまづ優秀なる機械工を急遽に養成することが必要だ——商工省東京機械工業所はこの國策遂行のために全員油だらけとなつて戦ひつゞけてゐる。

この養成所は、政府が今春四月、従来の東京府機械工業所を移管を傳したもので、中等學校卒業の十七歳以上二十五歳までの身心共に剛健な少年を選んで、僅々一ヶ月の期間内で機械工としての専門的且實務的技術を修得させ、國防工業の第一線に送り出すというのである。

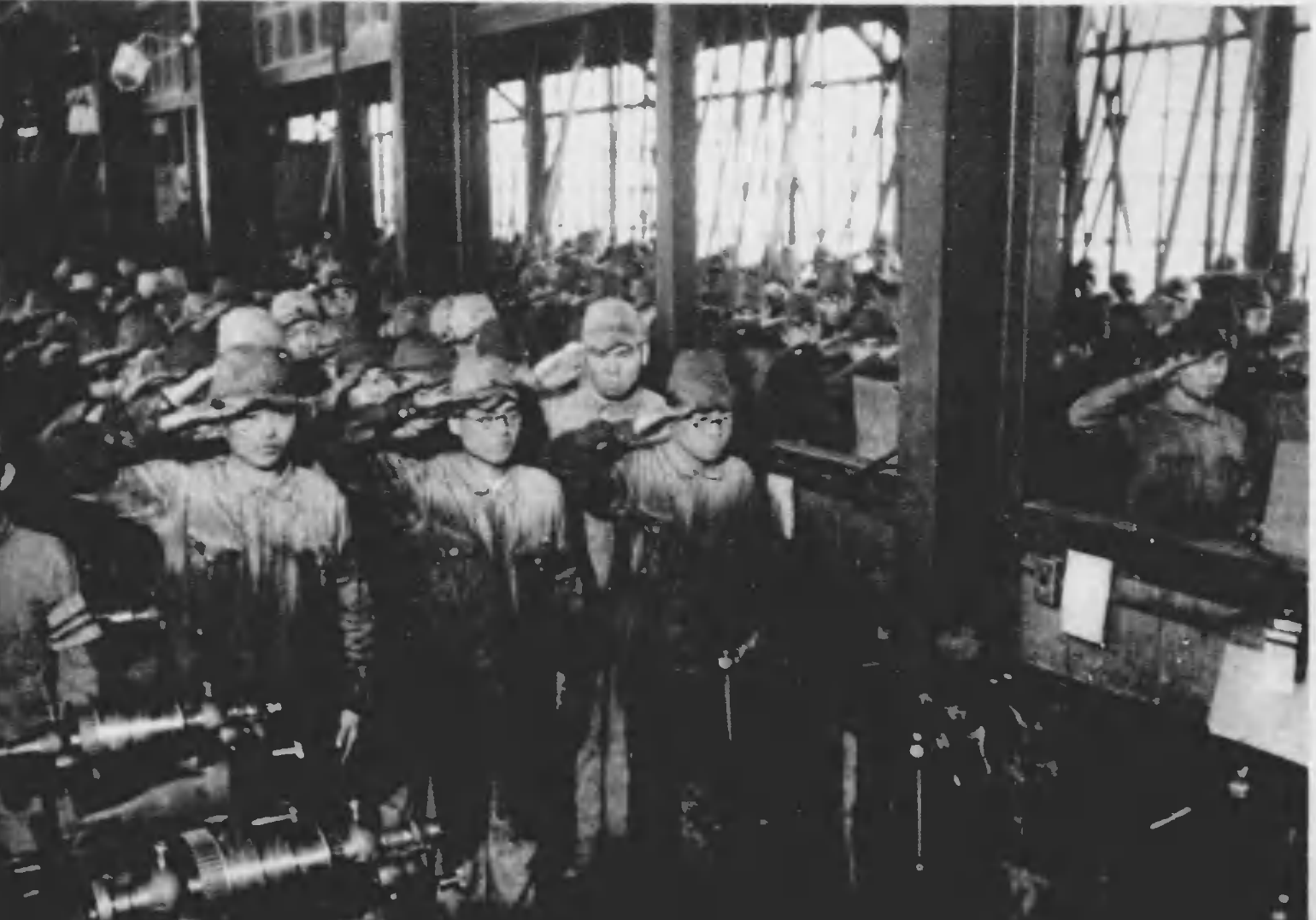
短期間に、固も將來の指導的機械工としての実務をこなへるといふ目標は、養成所の指導方針、産業機關の熱意と、嚴格な軍事的規律が克服する。午前八時から午後五時まで、中食の休憩を除いては一切休みなし、たと一心不亂の修業をつゞけてゐる。

製糖製粉の大業に邁進するために工業方面では生産力の補充に努めなければならぬ。そのためにはまづ優秀なる機械工業を急遽に養成することが必要だ。商工省東京機械工業成所はこの目標遂行のために会員油だげとなつて取ひつゞけてゐる。

この養成所は、政府が今年四月、従来の東京府機械工業成所を移管整備したもので、中等學校卒業の十七歳以上二十五歳までの身心共に機械工としての専門的且實務的技術を修得させ、国防工業の第一線に送り出さうといふのである。

短期間に、兩も將來の指導的機械工としての実務をそなへるといふ困難は、養成所の指導材料、産業機關の熱意と、嚴格な軍隊の規律が克服する。午前八時から午後五時まで、中食の休養を除いては一切休みなし、たゞ一心不亂の修業をつづけてゐる。

今すりかけ練
 習
 動作はすべて
 軍隊式、指導員
 の「集れ」の號
 令で萬力の前に
 駐足で整列、目標
 指示始めの「集
 音」とともに一齊
 揮身の力を加へ
 てすすりかけ。
 これは仕上科の
 基礎練習だ。





武蔵の支路によって事業はいよいよ本格的な長期建設の段階に入った。老若男女の区別なく皆一丸となって資力を出し、期を満ちた下、一丸となって建設の目的達成に努めなければならぬ。

東京の代表的工業地区、蒲田の某精密機械工場は、工場に隣接してその全従業員からなる町会を持つてゐるが、その町には従業員の子弟のための立派な小学校があり、この工場創立以来三十餘年、製作技術を父から、兄から、うけつぎ研究して来た全従業員は、次代の技術者を養成すべく小学校のうちからその指導につとめてゐる。

この町の小学校の児童は五年六年になると先生につれて学校の前りの工場を見学する。お父さんが働いてゐる。兄さんもお父さんと同じく学校を卒業したらこゝで働く。工場長の親切な説明をききながら子供たちは堅く決心する。

小学校を出たもの、あるひは上級の工業学校を出たもの、いづれにしても学校を卒業して工場に入ると、自分の父や兄が、或は先輩が、精密機械製作の實際について第一歩から教へてくれる。工場は町の工場、町は工場の町、二萬坪を敷くこの一劃は事實上工場主を家長とする一大家族である。

↑ 小学校の廊下の壁には様々な模様が、標本が、殊に機械に関するものが設備されてゐる。鋸、歯車、スパーナール、ゲージとは、どんなものかを幼い頭脳がまづ知つて置くべき。

↑ 手工のものを製作することは、未来の技術者のために取分け注意される。児童も父兄に見習つて仲々うまい。簡単な本箱を作る位のことから、竹の機械、機関銃を、そしてやがては本當に鋼をまもる精密機械を作ることだらう。

長期建設

勤儉貯蓄

町を形作る百五十の家族は町会長の選んで、統後を導く理想工場建設のために、保健康に、衛生に、統後建設に全町一いつになつて協力してゐるが、殊に事業による設備資金関係者はまづ貯蓄をと、町会長の中心に貯蓄組合を作り、互ひに鼓つて貯蓄することを誇りにしてゐる。左は工場内に働く町会長の貯蓄通帳をあづけて来たおみさん。

撮影 望月邦康 小杉新一



勞資一體

全國民は眞實剛健の國民精神を以て生活の刷新、勤勞奉公をいたさねばならぬ。すでに、幾たびか言はれてきたことであるが、この精神こそ長期建設の大理想に通ずる道があるのだ。

今、ここに幾多の試練を克服すべき勇気と心を都會の工場から見よう。この中に、工場関係以外の人々でも何か暗示を受けるものはないであらうか。勿論、これはたとへて一例にすぎない。農村、都會を問はず、この精神は全國に當てはめられるべきであり、男女、階級を問はず堅持持久、剛健なる生活の建設はなほ一層研究されねばならない。

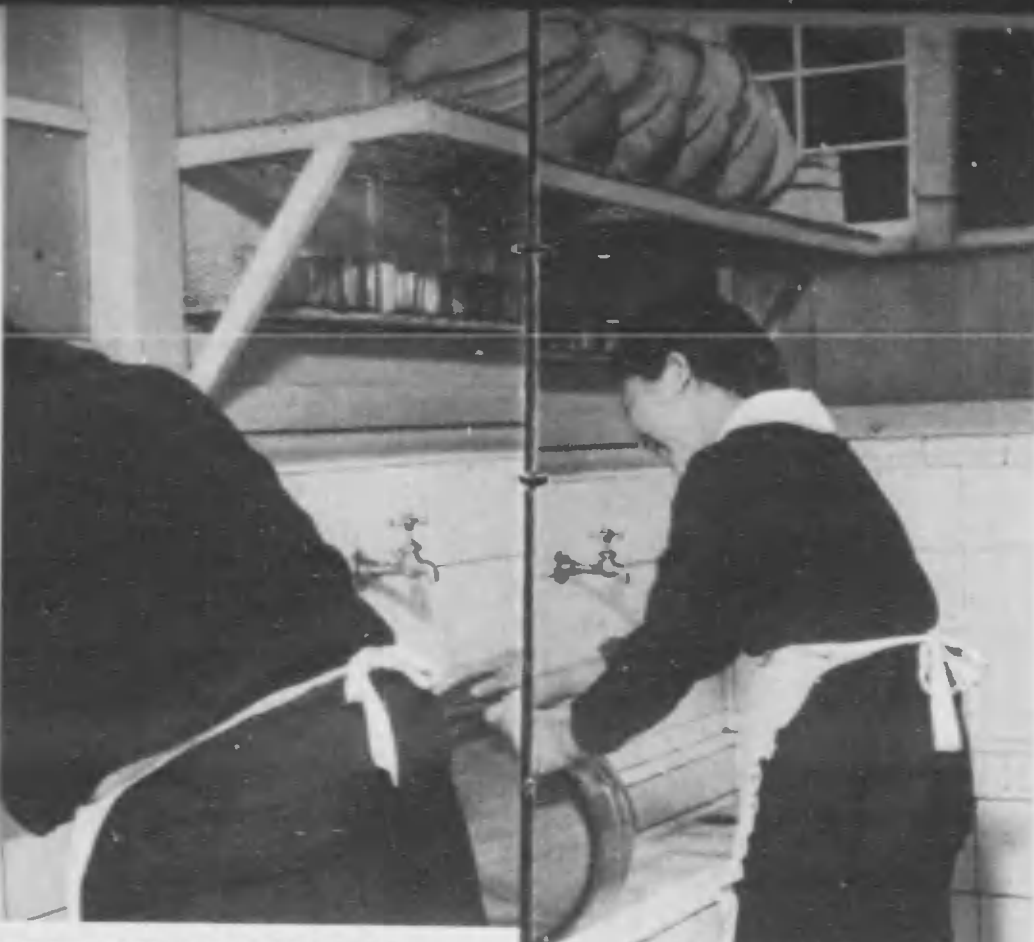
服従の簡便化、集團行動の規律化、體能の改善、空地利用、生活用品愛護、廢物不用品更生活など、考へられてよいことがたくさんある。



↑ コンクリートのたゞで底冷えする作業場に備へる女工さんたち、彼女らの脚の下には暖房用スチームのパイプが敷本流れてゐる。工場主の美はいい思ひやり、いまや労働者は資本家の労働者ではない。

↑ これは、ある工場の女工さんの洗面所。洗面器が木の手桶だ。ほおつておけばすぐ汚れるのでいつもタワシできれいにしておくと云ふ花嫁學第一課と、金屬をなるべく使用しない國策とを兼ね備へるといふ。

↓ 従業員家族のために社宅を設けてゐるこの大商店では共給きの夫婦が安心して働けるやうに幼稚園を造つて小供たちをあづかつてゐる。



生活刷新

↑ 奥室の御寫眞のある新聞紙を包装に使ふのは長れおほい。その御寫眞は君が代桶に。毎月、日を決めてこの箱の前に國歌を唱へて後、ついでしんで秘却し奉る。

↑ ゴミといへども馬鹿にならな。工夫すればゴミも立派に生きるのだ。ゴミを燃料にして沸いた湯は従業員の浴槽に。しかも、モエガラはふるひでふるつて農家の堆肥となり、針金やガラスはそれ／＼まとめてくづやさんに。





ポスター再生。西淀川區役所出張所で、古ポスターの裏を利用することを考へた。パルプ製紙の折から古ポスターの裏にかゝれた市民生活運動のストーリーは二重の効果をあげてゐる。



扶相保隣

久持忍堅

事變下の大阪市に、新しい精神運動としての町会が全市に結成された。この町会は国民精神総動員運動の實行母體として、また都市行政の刷新をすすめるため、事變下にふさはしい精神運動として誕生した。本年一月中旬から四月十七日の自治記念日まで、その結成を完了し、全市域に亘る二千七百餘の町会、二百四十六の校下町会聯合會、十五の區町会聯合會の組織を完成し、その有組織的活動が始められてゐる。いまや「隣保相扶の精神」を基調として非常時局を擔當するため、一切の社會活動を防ぐため、一致團結して公共に奉仕し、戦後國民の勤めを汝々としていそしめる。

品を賣却代金、その他節約による餘金を以て、兵隊を救済し、また國防兵隊等に充てる。三、報國貯蓄の徹底の普及、倍加に邁進して、これにより愛國公債、貯蓄債券を購入する。四、生活刷新、生活の無駄を排除、簡素生活の樹立、隣保團結の強化。二、消費節約、物資節約、廢品不用品の活用貯蓄及節約の勵行。三、心身鍛練、健康生活、體位向上、勤勞奉仕。

清掃奉仕 家庭の主婦は町の主婦、町内の清掃は私たちの手で、各町会に婦人連の清掃奉仕に大阪は見違へる程美しい街になつた。

街の閑堂。北區南同心町三丁目の町会館は街の閑堂を轉じて仕切つて町会の屯所を設け毎月一日、全町員を集め、伊勢神宮並びに官城の進拜式、教育勸励の修業を行つてゐる。



リレー式貯金箱。東淀川區町会館は戦後の共同貯金箱をリレー式に各戸に廻し、貯蓄を奨励してゐるが、いつも町をひと廻りして来た貯金箱には平均一戸二圓七十錢に達してゐる。

指導者養成。西區聯合町会館は夜間町内の十三歳以上の青少年を小學校に動員して青年鍛練指導者の講習會を催してゐる。夜の體操、いかにも大阪らしい風景。

各町会長はまた家庭防空組合長となつて、模範的な防空演習が各方面で行はれてゐる。家庭を護れ、町守れ。

秋刈奉仕。また西淀川區加島聯合町会館は秋刈奉仕隊を組織し、参加者百三十名が二班に分れて神崎川堤防の草刈りに奉仕した。農兵の家に守る主婦も、秋刈を手に草刈りゆく姿は秋後赤誠そのまゝの繪である。

お隣り神戸市が未曾有の水害に襲はれた時、隣保相扶の精神で大阪の各町会が起つた。手続當にシヤベル、トラクタまで持参した隊員のなほ西區奉仕に神戸市民を深く感激させた。撮影 大阪市



海彼の方

社会通説同・会協員宮



エーデン地方で展開された秋期軍大演習に臨御あそばされた。中央が閣下。(左上)

ドイツ、狩獵シーズ
ンに入る



大演習行幸の
スウェーデン王
スタッフ五世陛下は南スウ



テッセン地方
ボーランドに歸属す
ズデーテン地方への獨
軍進駐について十月一日
チエボコ領テッセン地方
方も遂にボーランドに歸
属することになったが、
ベアクト・ボーランド外相
は同日首都ワルソーで感
激の國民を前に「テッセン
進駐に導く」との大
演説を試みた。



ロッキード産層飛行機
實用航空として最優秀
な成績を示したものに授
與される有名なコリア杯
が今年はアメリカのロバ
キッドXC-35成層飛行
機に授與された。設計
製作とも米陸軍航空
隊技師の手になるもの。
寫眞は試験飛行中の同機

スミスに集まつた
オックスフォード賣

イギリスの誇るオックス
フォード大學に於て遊
學した世界四十ヶ國の
オックスフォード・グル
ープ會員二千名は山紫水
明のスキス、インタラ
ンケンでグループ會議を
開いた。寫眞はエヂプト
カナダ、スコットランド
等お國まるだいで打ちく
つる會員たち。

グラディスカの眞相
先ほどイタリ、グラ
ディスカのベルサリ工
除を訪れたマソソリー
首相は自ら五十六歳の巨
幅で軍隊の先頭に立ち、
一哩の既足で、青年をし
のぐ海軍よりを遺憾なく
發揮した。



東 京 ・ 銀 座
同 盟 通 信 社
發 行 所
振 替 口 座 東 京 八 〇 〇 番

!! 賣發々愈

『時事年鑑』は凡ゆる年鑑と百科辭典とを一冊に壓縮した我國唯一の綜合大年鑑であります。その内容は今更申すまでもなく飽く迄も『時事年鑑』二十年の傳統を生かすと共に本社獨特の組織と完備せる通信網によつて資料の豊富、統計數字の正確を誇り得る最新のもの、と確信致します。

『昭和十四年版時事年鑑』は政治、外交、軍事、財政、經濟、交通、勞働に、更に文藝、美術、スポーツ等に、事變下日本の凡ゆる實相と國際非常時局の情勢を克明に記録しつくしたもので、總ての年鑑中の『王座』『標準版』の自信を以つて世に贈るものであります。敢へて銀行、會社、工場、學校は勿論御家庭にも是非一部を御備へになる様を奨めする次第であります。

錢拾五圓二金 定價

錢三十三・方地 送料
 錢二十六・外海
 日本一
 御時即日本一
 支社本
 御用利を〇〇〇五八

泉源の識智際實
書全科百の備必戸萬

一冊に凡てを盡す綜合大年鑑
唯一の四六倍判々々八四〇頁

見よ!!

時事年鑑の威容

昭和十四年版
理想的な年鑑・經濟的な年鑑

	カ	讀
	メ	者
作 品	ラ	の

育て子らよ
 三倉松阪市
 林 功 美
 秋陽照り映へる校庭、時局下の運動會、プログラムに溢れる彩色
 一特務兵一 砲、工、歩、騎の兵強く、連戦連捷せし種は百戰無いて峰送する、兵糧のたまるものぞ



漢口占領！

漢口を占領した。漢口を占領した。號外で、ラチオで。感から口へ、耳から耳へ。感激にうるんだ。數喜に耐へかねて人々は用意の提灯を手につく。夜。た。行列は續く。星々。この宵、海軍省正面玄關にはためく海軍旗は押しよせた秋びの灯に、てり映えしづかにためいてゐた。

築け體力

宮崎 勇

二の國民として校門から送りださうと懸命に努力してゐる

寫真募集規定

本誌は『萬葉國』の一助にもと
考へ、出来る限り紙面を開放し諸君
のカマを動かし、藝術を技藝に持つ
ものゝ題材内外放散、國策の宣
傳に關するものならは何でもよい。
例へば何に田畑にも、或は工場、
家庭、學校と到る所に遊學、或は
習ひ、國策と對照し風景、或は季
節と世相と面白く組合せなどどう
でせう、一枚の宣紙でも版紙又は紙
の粗鼠紙でもよく短期切込に決定す
る。分にはヤキベテ例以上、掲載
の分には斷又は記念品を贈呈し版
権は當該局屬するものとす。
應募作品一切返却せず。

正誤 第三十號一頁の英雷一萬三千三百四柱は

ガン、ガン、ガン、耳も
雙し、窓ガラスも破れよ
ばかり、揮身の力をハンマ
ー一つに、産業戦線第二陣
を承はる若人は今日もたが
ねを打ち、わが身を鍛へる、
愛國の血は若い胸に燃え、
報國の汗は淋漓と顔にしか



寫真週報（藝文版）

昭和十三年十一月二日印刷發行

內閣情報

內明印

東京市麹町區大手

部 十

送與不與

一ヶ年分未満配送御希望

方は一部十銭の割合を以

內閣印刷局發行

電話丸ノ内(23)三五二

全國各地官報販賣

各書店・評賣

寫真材料

東京新聞 昭和十三年二月十二日 第三版 東京新聞 昭和十三年十一月二日 第一版 東京新聞 昭和十三年十一月二日 第一版

……い強の力化淨・菌殺

磨歯ブラック

薬用



ムシ歯・口臭を防ぎ
 感冒・結核を豫防する
 強力殺菌剤の威力！



健康と衛生のために

この薬効的磨歯を！



ラブ磨が、絶對的支持を得てゐる
 のもこの爲です。強力殺菌剤の科學
 作用で、ムシ歯・口臭・歯槽膿漏を
 豫防・防止するだけでなく、感冒・
 結核を防ぎ、歯と歯ぐきを美しく健
 康にします。

薬用ラブ磨 十八センチ

(本磨の大きさは規定規格A4・「通帳」倍判)